

〈意見・質疑応答〉

【英語体験教室について】（参考資料（中公）P10～17）

紀室委員：「とてもよかった」「よかった」の回答が100%というのが素晴らしい。英語力向上はとても意義のある目標なので、この活動を今後も継続してほしい。

菅原委員：英語体験教室の指標評価「アイデアを考えたり、工夫したりすることが楽しかった」の項目について、令和6年度の事業総括を生かし、「割合を増やしたい」ので令和7年度の項目に盛り込んだのだと思うが、現在の英語体験教室の内容（進め方）では、2回／年しか経験できず、そのうえ対象が未就園児のため、自らアイデアを出したり工夫することは難しいと思う。

本項目は削除し、代わりに「自分ができることが増えた」の内容を例えば「自分の名前（挨拶）が英語で言えるようになった」や、「色の名前を覚えた」など経験したことを具体的に記入できる項目を入れるのもよいと思う。

市の考え方：（中央公民館）本アンケートは事業実施前後の参加者の変容・成長を把握する目的で行っているが、ご意見のとおり、アンケート項目が回答者である就学前児が答えにくい表記となっている。今後、未就学児がより答えやすくなるようアンケートの表現を工夫する。

【スクールガード配置事業について】（参考資料（生学・研究所）P1～8）

紀室委員：スクールガードは児童・生徒の交通安全や防犯に関わる見守りという重要な役割を果たしており、また、あいさつの習慣化にも寄与している。

さらに、スクールガードの活動や思いを知らせることで、児童・生徒の感謝の気持ちを育てることができる。保護者アンケートの自由記載の「良かったこと」には、感謝の言葉が数多く記載されており、この内容はぜひスクールガードの皆さんにお見せしていただきたいと思った。

市の考え方：（生涯学習課）例年、会議資料を各学校に送付しているが、スクールガード1人1人に対し、アンケート結果の配布も検討する。